ともだちのときちゃん

ともだちのときちゃん

1年　H・Fくん

さつきちゃんはしっかりものでしゃべるのがとくいです。しかし、ともだちのときちゃんはなにをするのもゆっくりでしゃべるのがあまりうまくないのでせいかくがことなります。それで、ぼくもしょうがっこうにかよっていますが、ぼくのせいかくとクラスのおともだちのせいかくは、やっぱりちがいます。だけど、四月に入学してから、しらないおともだちがどんどんしっているおともだちにかわっていきました。それで、おともだちとたくさんあそんでいます。そしたらこんどは、どんどんしっているおともだちから、なかよしのおともだちにかわりました。それは、さつきちゃんとときちゃんとおんなじで、おともだちといっしょにあそんだり、いっぱいおはなしをしたからだとおもいます。きもちが、つたわってくるとおもいます。

さつきは、ときちゃんにいじわるをしちゃったときも、ごめんねのきもちがあるのでぼくはさつきちゃんに「ごめんねのきもちもちゃんとおともだちにはつたわるんだよ。」とおしえてあげたいとおもいます。

ときちゃんは、さつきのきづかないところにきづいて、こんどはさつきがときちゃんはじぶんがきづかないことにきづくんだな、とかんがえます。ぼくもおともだちのいいところにいっぱいきづきたいです。ぼくのいいところにきづいてくれるおともだちがいたら、はずかしくてにやけちゃいますが、うれしくておそらをとんじゃいます。